

長門市ケーブルテレビ放送番組審議会（令和5年3月30日）

放送番組審議会では、「ほっちゃ NEWS イブニング」「ほのぼのボーノ」「長門市議会（再放送）」を視聴し意見聴取しました。

●各委員からのご意見

「ほっちゃ NEWS イブニング」について

- ・番組企画について、番組に取り上げられると地域で話題になり関心も高まる。最近ではニューススポーツの普及を進めている、趣向を凝らした取り組みが実施されているので定期的に取り上げてはどうか。高齢者の視聴者も多いため、スポーツへの参加を促すことで、健康づくりに繋がるのが期待される。
- ・番組企画について、日本語クラブでは、市内在住の技能実習生やその家族に日本語を教えている。在外人は約500人いる、母国の情報など発信することで、番組を通じて異文化に触れる良い機会に繋がる。
- ・番組視聴について、子どもが映るので観ているという人が多い。また、番組内で時刻を常に表示することができるとよい。時刻を見るためにテレビをつけている方も多い。

「ほのぼのボーノ」について

- ・グルメ番組内での店舗紹介について、QRコードを表示してスマホで情報取得しやすくする工夫などあるとなお良い。

「長門市議会（再放送）」について

- ・字幕放送があることで分かりやすくなった。

●その他の番組等のご意見

- ・ウェザーニュースについて、アナログからデジタルになりとても綺麗になった。
- ・小中学校の先生による講座番組について、コロナ禍で放送されていたが内容がとても素晴らしかった。学校の取組を発信することで、不登校のきっかけ・対策にも繋がると考える。
- ・文字放送の市政だよりについて、文字が多いため画像や図を用いるなどの工夫が望ましい。
- ・L字放送（緊急割込情報）について、火災の際は必ずチェックしている。他局では出ないような情報をL字放送で出していただきたい。
- ・Facebookでの番組紹介について、若い方の情報収集はスマホ・SNSが中心であり、とても良い取組だと思う。
- ・地域探訪について、地域の歴史を知るきっかけになり大変良い企画である。
- ・ころばん体操について、地域に浸透している。ころばん体操ができない人もいるので、ストレッチやコンディショニングなども紹介するとよい。

審議会は、上野委員、片山委員、荒川委員、伊藤委員、沓野委員、中岡委員、宗金委員、山近委員、市から企画政策 山田課長、松岡、ながとてれび株式会社から森重センター長、萩原課長が出席しました。